

# 2026 年度事業計画および収支予算

2026 年 6 月 2 日



北陸経済連合会



2026 年度事業計画（総合対策委員会）

事業計画	実施内容等
1. 「つながる北陸」地域経済循環を持続的に生み出す社会基盤整備の促進	
(3) 災害からの防災レジリエンス強化 ① 能登半島地震からの復旧・復興 (a) 政府への要望活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 能登半島地震からの復旧・復興に向けた支援を要望</li> </ul>
(b) 創造的復興に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北経連ウェブサイトにて能登製品の紹介や、会員の能登復興への取り組みを掲載。能登産品活用の促進を検討【新規】</li> <li>・ 能登の復旧状況を確認する視察会の開催【新規】</li> <li>・ ウェブサイト（北陸物語）や情報発信拠点などを活用した能登の魅力に関する情報発信</li> </ul>
② 自然災害等に対応する社会基盤、企業設備等の充実・強化・多重化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ BCM調査結果（昨年度実施）を踏まえた企業の防災・減災に関する講演会の開催【新規】（社会基盤委員会と連携）</li> </ul>
(4) 東京一極集中の是正 ① 北陸地域への企業誘致・投資促進 (a) 政府への要望活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政府機能分散や本社機能・研究機能移転、投資促進に資する支援を要望</li> </ul>
(b) 北陸投資国際促進会議※による企業誘致・投資促進 <small>※三県、北陸電力、北経連で構成</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大都市で開催される大規模展示会（12月）や半導体関連企業が多数集まる展示会（10月）にブース出展し企業立地環境をPR</li> <li>・ 半導体関連企業誘致に資する視察の実施</li> <li>・ 企業誘致に資する勉強会や各県担当者との意見交換の実施</li> </ul>
② 北陸地域への人材呼び込み・関係人口拡大 (a) 政府への要望活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係人口拡大に資する支援を要望</li> </ul>
(b) 北陸イメージアップ推進会議※による北陸の魅力に関する情報発信 <small>※三県、北陸電力、北経連で構成</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 首都圏人材がどのような条件が満たせば地方企業への転職を志向するかを調査し、その結果を北陸の行政・企業へ発信【新規】</li> <li>・ 「北陸物語」HP、Facebook、Instagramによる情報発信</li> </ul>
2. 「拓く北陸」北陸企業の労働生産性の向上と成長	
(4) カーボンニュートラルの実現を目指したエネルギー・環境対策 (a) 政府への要望活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子力発電所の再稼働、水素利活用、サーキュラーエコノミー等の実現に向けた支援を要望</li> </ul>
(b) 北陸環境共生会議※・カーボンニュートラルBASE北陸（CNBH）による北陸のカーボンニュートラル推進に向けた取り組み <small>※三県、北陸電力、北経連で構成</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CN 経営拡大に向けた、企業における取り組み事例の共有を図るセミナーの開催</li> <li>・ CNBH 参画者同士のネットワーク強化に繋がる機会の創出（マッチングイベント、意見交換会）</li> <li>・ 展示会への出展を通じた次世代層へのエネルギー・環境啓蒙</li> <li>・ CN・GX の理解深化を図るための視察会の実施</li> </ul>

事業計画	実施内容等
3. 「魅せる北陸」北陸地域・企業のブランド化	
(3) 情報発信による北陸のブランディング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北経連ウェブサイトのリニューアルによる広報強化（先進事例の域内外への紹介、会員企業への周知等） 【新規】</li> </ul>
(4) 会員間の交流促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員懇談会のテーマを会員のニーズや時流に即した内容となるよう年度ごとに見直し、より多くの参加を促す</li> <li>・参加者同士の活発な議論や交流の促進を図る（交流会等の実施機会増）</li> </ul>
4. 北陸戦略連携協議会・広域リージョン連携	
(1) 北陸戦略連携協議会 ※北陸地域共通の諸課題について議論を深める実務者レベルの協議会（2025年度三県知事懇にて合意を得て設立）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アンコンシャス・バイアスへの気づき」をテーマに26年度三県知事懇にて共同宣言。27年度以降実施するプロジェクトについて協議。</li> </ul>
(2) 北陸三県広域リージョン連携・中部広域リージョン連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成団体と連携し各プロジェクトへ参画</li> <li>・総合対策委員会関連プロジェクトは以下の通り <ul style="list-style-type: none"> <li>【北陸三県広域リージョン連携】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸のイメージアップの推進</li> <li>・企業誘致等の投資交流促進</li> <li>・UIJターン就職の促進</li> <li>・北陸繊維産地の振興</li> <li>・カーボンニュートラルの推進</li> <li>・北陸三県への移住促進</li> </ul> </li> <li>【中部広域リージョン連携】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林資源の循環利用</li> <li>・県域を越えた避難・支援体制の構築</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
5. その他	
(1) 政府要望活動など	<p>北経連単独に加え、他経連と連携した要望活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北経連単独要望活動（8/6）</li> <li>・西日本経済協議会要望活動（11/16）</li> <li>・三経連要望活動（11/17）</li> </ul>
(2) 行政当局、関係団体との懇談会の開催	<p>&lt;北経連主催&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地経済団体専務理事会議（4/24-25）</li> <li>・三県知事との懇談会（8/31）</li> <li>・北陸選出の自民党国会議員との懇談会（11/17）</li> <li>・経団連との懇談会（11/19）</li> <li>・中部・近畿経済産業局との懇談会（12/8）</li> </ul> <p>&lt;他団体主催&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸地域未来戦略検討会（4/28、5/22）</li> <li>・北陸地方整備局・運輸局との懇談会（8/19）</li> <li>・三経連経済懇談会（8/26-27）</li> <li>・西日本経済協議会総会（10/14）</li> </ul>
(3) 大学と産業界の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸産学連携懇談会（会員大学の学長と当会役員との懇談会）の実施</li> </ul>
(4) 海外経済視察ミッション派遣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『第六次中期アクションプラン』の着実な推進に資する欧州の先進事例を対象とした海外経済視察ミッションの派遣（9月）</li> </ul>

以上

2026 年度事業計画（人財活躍推進委員会）

事業計画	実施状況、評価・方向性
1. 「つながる北陸」地域経済循環を持続的に生み出す社会基盤整備の促進	
(4) 東京一極集中の是正	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページ内の「副業・兼業人材とのマッチング事業紹介※1」ページの利用促進</li> <li>－ 2025年度にリニューアルした特設ページの更新とPR</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> <p>※1 「副業・兼業人材とのマッチング事業紹介」ページ  <a href="https://www.hokkeiren.gr.jp/project/working/">https://www.hokkeiren.gr.jp/project/working/</a></p>
3. 「魅せる北陸」北陸地域・企業のブランド化	
<p>(1) DEI 推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な人材の最大限の能力発揮に資する環境整備への支援、好事例の共有、セミナー開催等の情報発信</li> </ul> <p>※2 「女性活躍推進の取組み」ページ  <a href="https://www.hokkeiren.gr.jp/project/diversity/">https://www.hokkeiren.gr.jp/project/diversity/</a></p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性活躍、シニア活躍、働き方改革に必要な政策に関する政府等への要望活動</li> <li>・ ホームページ内の「女性活躍推進の取組み※2」ページの改修</li> <li>－ 会員企業における女性活躍推進の取組みを紹介しているページについて「えるぼし」の取得状況だけでなく、各種認定制度の取得情報等も追加して、会員企業の取り組みをより充実させた内容にリニューアル</li> <li>・ 65歳以上の高年齢者の継続雇用のために必要となる「人事・賃金制度」等の整備に資する情報発信</li> <li>－ 関係機関との連携による外部セミナーや諸制度等の案内</li> <li>・ 男性育休の促進に資する外部セミナー等の情報発信</li> <li>・ 「女性の就業意識に関する実態調査（3回目）」実施【新規】</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主観的ウェルビーイング※3に関するアンケート調査による実態把握、セミナー開催などの情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウェルビーイングに関するセミナーの開催【新規】</li> </ul> <p>※3 自分で感じる幸せ・満足度を指す概念。収入や健康状態のような外から測れる指標ではなく、本人の内面の評価を重視。</p>
4. 北陸戦略連携協議会・広域リージョン連携	
<p>(1) 北陸戦略連携協議会</p> <p>※北陸地域共通の諸課題について議論を深める実務者レベルの協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「アンコンシャス・バイアス※4への気づき」をテーマに、三県知事懇にて共同宣言。2027年度以降実施するプロジェクトについて協議【新規】</li> </ul> <p>※4 無意識の偏見・思い込みのこと</p>

以上

2026 年度事業計画（社会基盤委員会）

事業計画	実施内容
1. 「つながる北陸」地域経済循環を持続的に生み出す社会基盤整備の促進	
<p>(1) 北陸新幹線の大阪までの早期全線開業</p>	<p>(a) 北陸三県をはじめとする沿線自治体や経済団体と連携した政府に対する要望活動の実施、各県で開催される大会・総会における要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敦賀～新大阪間の早期着工、早期全線整備に向けた要望活動、中央情勢の把握</li> <li>・ 敦賀以西 8 ルート案について、与党整備委員会や PT での議論を注視、情報把握</li> </ul> <p>(b) 関西地域の機運醸成に資する沿線自治体や関西経済界と連携した活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小浜・京都ルート 합의形成に向け、関西経済連合会や大阪商工会議所等と連携</li> </ul> <p>(c) 懇談会等での PR 活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北陸新幹線建設促進同盟会の公式キャラクターを活用した普及活動により広く一般市民への機運浸透</li> <li>・ 北陸新幹線早期全線開業に向けた機運醸成イベント（鉄道イベント等）への協力</li> </ul>
<p>(2) 陸・海・空一体となった人流・物流基盤の強化</p> <p>① 高速道路の全線 4 車線化、ミッシングリンクの解消</p>	<p>(a) 政府に対する要望活動、国土交通省との懇談会等での要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高規格道路の完全 4 車線化実現・整備促進</li> <li>・ 事故・渋滞削減に資する高規格道路の整備促進</li> </ul>
<p>② 北陸地域の港湾・空港の利便性の向上</p>	<p>(a) 北陸地域の港湾の利便性向上に向けた政府に対する要望活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本海側拠点港の整備・促進等</li> </ul> <p>(b) 北陸地域内空港の路線網維持に向けた政府に対する要望活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 航空需要喚起のための取組促進等</li> <li>・ 空港へのアクセス向上にむけた二次交通充実促進等</li> </ul>
<p>③ 人流・物流の強化</p>	<p>(a) 物流 DX、業界の労働力不足対策、その他人物流に関する情報収集、見学会、勉強会・講演会等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 港湾、高規格道路工事、空港、インフラ設備等の視察会実施</li> <li>・ 勉強会・講演会は過去の参加者アンケートで要望の多いテーマで実施（2026 年度 1 回目委員会で講演実施）</li> </ul> <p>(b) 並行在来線への支援、地方鉄道・バス等域内二次交通維持に向けた政府に対する要望活動</p> <p>(c) 物流に関して太平洋側の代替機能を果たすためのインフラ等の強化に向けた政府に対する要望活動</p> <p>(d) 「北陸地域国際物流戦略チーム」への参画</p>

事業計画	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幹事会</li> <li>・ 広域バックアップ専門部会</li> <li>・ 代替輸送訓練</li> <li>(e) 各県並行在来線利用促進協議会等への参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あいの風とやま鉄道利用促進協議会</li> <li>・ IR いしかわ鉄道利用促進協議会</li> <li>・ ハピラインふくい利用促進協議会</li> <li>・ 北陸三県広域リージョン連携事業への参画</li> </ul> </li> </ul>
<p>(3) 災害からの復興と防災レジリエンス強化</p> <p>① 能登半島地震からの復旧・復興</p>	<p>(a) 復旧・復興に向けた調査・提言・要望</p> <p>(b) 創造的復興に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 能登の復旧復興視察会実施（総合対策委員会と合同実施）【新規】</li> </ul>
<p>② 自然災害に対応する社会基盤、企業設備等の充実・強化・多重化</p>	<p>(a) 防災・減災インフラの整備（ICT インフラ含む）に向けた調査・提言・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年度公表のBCM アンケート結果を踏まえた追加調査実施【新規】</li> <li>・ 企業の防災・減災の課題解決に資する講演会の開催【新規】</li> </ul> <p>(b) 西日本経済協議会「防災分科会」における意見交換・情報収集（幹事：関西経済連合会）</p> <p>(c) 北陸三県及び中部広域リージョン連携事業への参画【新規】</p>
<p>北陸圏広域地方計画</p>	<p>(a) 計画策定における意見具申</p>
<p>北陸・近畿地方整備局、北陸信越・中部運輸局との懇談会</p>	<p>(a) 8/19 北陸地域懇話会（富山開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会インフラの強靱化や観光、物流等の地域課題について意見交換実施</li> </ul>

以 上

2026 年度事業計画（新たな価値創出委員会）

事業計画	実施内容
2. 「拓く北陸」北陸企業の労働生産性の向上と成長	
(1) 新たな価値創出（高付加価値化、新事業創出） ・域内外スタートアップ(SU)支援団体との連携強化と共催イベント開催	・富山県「T-Startup」等に参画し、イベント周知で協力するとともに、域内 SU 支援機関との情報交換を継続 ・先進地域の SU 支援機関と共催イベント等を企画し、域外 SU と北陸企業、域内 SU と域外企業とのマッチング機会を創出
・産業の高付加価値化や域内循環・調達の必要性に対する意識醸成セミナーの開催	・中間財から最終財への転換による付加価値化などに資するセミナー（講演会）の開催【新規】
・マッチング a. 北陸地域の産業展示会等への協力と出展	・北陸技術交流テクノフェア 2026(10/22-23 予定) ・Matching HUB Hokuriku 2026(11/12-13 予定)
b. 北陸のシェアトップ 150(改訂版)を活用した北陸企業のPR	・以下で配布予定 -北陸地域の産業展示会に出展し配布 -北陸投資国際促進会議で出展する展示会での配布
・オープンイノベーション a. 大学見学会等の開催	・金沢大学見学会の開催（総合対策委員会と共催、北陸産学連携懇談会と同日開催）
b. 産学技術交流会の開催	・企業実務者と大学研究者の交流の場として、情報交換、施設見学等の技術交流会の開催（共催テーマ募集および会員の関心が高い施設の見学会等を企画）
・北陸の産学官金連携プラットフォーム等への参画・協力 ✓HOSTEC ✓TeSH ✓北陸未来共創フォーラム	・「北陸スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム(HOSTEC)」、「Tech Startup HOKURIKU (TeSH)」、「北陸未来共創フォーラム」、に参画しイベント周知等で協力
・新事業等に対する参入規制緩和	・先端技術利用やビジネス展開等に対する規制緩和に加え、地方における新事業創出と大学発 SU 支援、企業の設備投資および人材育成の支援等について政府へ要望（総合対策委員会 政府要望 WG と連携）
(2) 企業のDX推進と人材育成 ・AI等を活用した生産性向上や新たな価値創出事例に関する情報提供	・講演会の開催 ・他団体主催の講演会・セミナー等のイベントの周知
・大学等との連携によるDX人材育成	・金沢工業大学主催、北経連共催「DX リスキル教育プログラム」の改善・実施 ・大学等が主催する社会人向けリスキル教育等の周知

事業計画	実施内容
<p>(3) オープンデータ利活用の推進 【新規】 ・オープンデータ利活用促進に向けたワーキンググループ(WG)の設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WG体制の構築</li> <li>・WG活動計画の策定、実施</li> </ul> <p>≪活動計画例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光DX等、先進分野の事例共有のセミナー開催</li> <li>・データ利活用ワークショップの開催 (例：観光DX/防災DX、ニーズ収集等)</li> <li>・北陸全体でのオープンデータ利活用機運の醸成イベントの開催（官民関係機関の交流、若者に向けた機会の創出等）</li> </ul>

以 上

2026 年度事業計画（観光委員会）

項目	実施内容
3. 「魅せる北陸」北陸地域・企業のブランド化 (2) 観光促進	
1. 広域周遊観光の推進	
(1) 北陸の魅力を情報発信	<p>○「北陸物語」HP、Facebook、Instagramによる情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元ライターによる「自然」「歴史」「グルメ」「温泉」「アート」「体験」「クラフト」「フォトスポット」に関するトレンド情報、能登の復興状況等を発信。継続的に、コンテンツの充実に努める。</li> <li>・自然・食・文化等をテーマにした広域周遊観光ルートの提案【新規】 <ul style="list-style-type: none"> <li>－旅行目的・嗜好に合わせた北陸地方(岐阜県飛騨地方の一部を含む)の広域周遊ルートを、北陸物語HP等に掲載</li> </ul> </li> </ul>
(2) 能登半島地震からの観光復興に向けて	<p>○観光基盤の回復等に向けた政府への要望活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地の景観保全・施設復旧に向けた支援 など</li> </ul>
(3) 北陸三県一体の誘客促進事業	<p>① 北陸三県誘客促進連携協議会（北陸三県、JR 西日本、北経連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Japanese Beauty Hokuriku」キャンペーン</li> <li>・首都圏・関西圏でのPRイベント実施</li> <li>・5/23 東北発の団体臨時列車「つながる北陸」号運行（盛岡～敦賀）</li> <li>・5/28 理事会、7/15 北陸誘客促進会議</li> </ul> <p>② 北陸三県修学旅行誘客促進プロジェクト（三県観光連盟、JR 西日本、北経連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員や旅行会社を招いた現地視察会</li> <li>・首都圏等旅行会社×北陸観光事業者の商談会(11/12)</li> </ul> <p>③ 北陸広域観光推進協議会（北陸三県、三県観光連盟、北経連）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光誘客用パンフレット、北陸路マップの作成</li> <li>・首都圏、関西圏での観光商談会</li> </ul> <p>④ 産学官金連携による誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸未来共創フォーラム 観光分科会への参画</li> </ul> <p>⑤ HOKURIKU+（ホクリクプラス・大阪の北陸三県情報発信拠点）でのPRイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西圏から北陸への誘客促進に向けて、今年度も実施（具体的な内容は検討中）</li> </ul> <p>⑥ 北陸三県広域リージョン連携、中部広域リージョン連携による観光プロジェクト【新規】</p> <p>＜北陸三県広域リージョン連携＞</p> <p>三県・北経連で構成。2025年10月に連携宣言。</p> <p>下記が観光関連プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸イメージアップ推進会議</li> <li>・インバウンド誘客の促進</li> <li>・HOKURIKU+を活用した関西圏情報発信の推進</li> </ul> <p>＜中部広域リージョン連携＞</p> <p>中部・北陸10県、北経連・中部経連等で構成。2025年11月に連携宣言。</p> <p>下記が観光関連プロジェクト</p>

項目	実施内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド誘致と域内周遊に向けたプロジェクト</li> <li>・広域鉄道ネットワークの研究</li> <li>・観光需要の平準化推進</li> </ul>
(4) 関係団体との連携	<p>①中央日本総合観光機構 (中部・北陸ブロックの広域連携DMO。北経連は副会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機構の機能強化、活動の実効性の向上に向けた支援</li> <li>・訪日ビジネスパーソン向けプレジャー事業（海外からの日本出張滞在中の旅行推奨）への協力 等。</li> </ul> <p>②昇龍道プロジェクト推進協議会（中部北陸の官民連携インバウンド推進プロジェクト）</p> <p>③西日本経済協議会 広域観光分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方誘客の促進・拡大に向け、歴史・自然・文化などの地域資源を活かした観光振興の取り組み等について西日本の6経済連合会間で意見交換・情報共有。</li> </ul>
<b>2. インバウンドの北陸滞在促進</b>	
(1) インバウンド向け観光コンテンツの充実・情報発信	<p>①インバウンド向け広域周遊観光ルートの検討【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「金沢+1」の観光ルートを作成・提案。北陸への滞在日数増加を図る。</li> </ul> <p>②インバウンド向け情報発信の検討【新規】</p> <p>検討項目の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象：旅行中の方か、旅行前の方か</li> <li>・内容：広告か記事か。北陸物語 HP への誘導か、北陸の PR か</li> <li>・媒体：SNS か、日本の海外向けイトか、海外サイトか</li> </ul>
(2) 観光庁事業への参画	<p>○「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸のブランディング <ul style="list-style-type: none"> <li>- ブランドブック・WEB サイトの更新・活用</li> </ul> </li> <li>・販売準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 富裕層向けコンテンツの造成・ブラッシュアップ</li> </ul> </li> <li>・ネットワーク・販路形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 海外レップ(米・英メディア向け)の設置(新規)</li> <li>- 国内DMC・海外エージェント・海外メディア向け招請ツアー</li> <li>- 海外ラグジュアリー系商談会への参加</li> </ul> </li> <li>・人材育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 通訳ガイド研修、宿泊施設向け研修</li> </ul> </li> <li>・推進体制強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 地域における機運醸成のためのセミナー</li> </ul> </li> </ul>
<b>3. 持続可能な観光地域づくり</b>	
(1) 観光業の生産性向上	<p>①会員への情報提供(情報発信・講演 等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サステイナブルツーリズム、DXツール活用事例 等</li> </ul> <p>②北陸未来共創フォーラム観光分科会「観光DX推進WG」における取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「北陸三県におけるAI観光コンサルティング実証事業」 (検討内容) インバウンド客にスマホを貸与→移動データ等と三県観光アンケートデータを連携→AIが、旅行者の嗜好に合わせた最適な周遊プランを提示</li> </ul>
(2) 観光産業を担う人材育成	<p>○会員への情報提供(情報発信・講演 等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央日本総合観光機構観光人材育成事業 など</li> </ul>

以上

2026 年度事業計画（国際委員会）

事業計画	実施内容
<p>2. 「拓く北陸」北陸企業の労働生産性の向上と成長</p> <p>(5) 海外市場の開拓</p> <p>①海外現地との経済交流・視察事業の推進</p> <p>(a)ASEAN 諸国ベトナム行政官、インドネシア行政官との経済交流会、北陸企業の産業視察の実施</p> <p>※日本政府とベトナム政府間の ODA 事業の一つ。政策研究大学院大学（GRIPS）が JICA 事業として実施。ベトナムの共産党・政府の幹部や幹部候補生を招聘、公共政策、経済、公務員倫理等の研修や日本側関係者との意見交換を通じ、行政改革と新しい社会経済モデル構築に必要な次世代リーダーを育成するもの。</p> <p>(b) 韓国：北陸と韓国東部 4 自治体との経済交流会議</p>	<p>1) ベトナム高官との政策・産業分野における経済交流、及び北陸企業の産業視察の実施</p> <p>a) 4 月 9 日～10 日：GRIPS で実施される「ベトナム国戦略的幹部研修プロジェクト<sup>(※)</sup>」の短期研修の機会を捉え、中央省庁の副大臣級・局次長級幹部及び地方省の局次長級幹部(19 名)を対象として実施</p> <p>b) 知事表敬</p> <p>c) 行政(座学)：訪問先：富山県庁</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ：「ウェルビーイングの取組みについて」 (担当：知事政策局 企画室ウェルビーイング推進課)</li> <li>・テーマ：「富山県の地域交通政策について」 (担当：交通政策局 地域交通・新幹線政策室)</li> </ul> <p>d) 産業視察：津田駒工業(株)、中村留精密工業(株)、ニッコー(株)を予定</p> <p>e) 10 日夜、関係者を招聘の上、懇親会を開催予定</p> <p>2) インドネシア中央政府及び地方自治体行政官(9 名)との公共政策・産業分野における経済交流及び北陸企業の産業視察の実施</p> <p>a) 8 月 5 日～6 日：GRIPS で実施される「Economics, Planning and Public Policy Program」中期研修の機会を捉え、公共政策・産業分野における経済交流及び北陸企業の産業視察の実施</p> <p>b) 行政(座学)：福井県 産業労働部 成長産業立地課、公営企業課他</p> <p>c) 産業視察：津田駒工業(株)、テクノポート福井、福井港</p> <p>1) 「第 22 回 北陸(日本)・韓国経済交流会議」、産業視察の実施</p> <p>a) 開催日：10 月 21 日(水)～10 月 23 日(金) (予定)</p> <p>b) 開催場所：韓国 大邱広域市</p> <p>c) 内 容：本会議、産業視察他</p> <p>なお、テーマ、発表内容並びに発表者等は日本側関係機関（経済産業省通商政策局韓国室、中部経済産業局国際課、北陸三県並びに会員）、韓国側関係機関（産業通商部、4 自治体並びに韓日経済協会）と協議予定</p>

事業計画	実施内容
<p>(c) 韓国：日韓経済交流会議 ※北陸 AJEC は日韓経済協会協力会員</p>	<p>1) 「第 58 回日韓経済人会議」への参加 a) 開催日時：5 月 19 日(火)14:30～ 開会式、基調講演 5 月 20 日(水)9:00～ 会議 b) 開催場所：The Okura Tokyo プレステータワー</p>
<p>(d) KOTRA 名古屋館との連携事業 ※KOTRA は独法)大韓貿易投資振興公社の略称。産業通商資源部傘下の貿易促進・投資誘致政府機関</p>	<p>1) 「韓国ビジネスセミナー」開催 a) 開催日時：4 月 21 日(火) 14:00～16:00 b) 開催場所：北國新聞会館 201 号室 c) 主催：KOTRA 名古屋館 後援：北陸 AJEC、北陸銀行、富山新世紀産業機構他 d) 内容：次のテーマでの講演、質疑応答 ・ 韓国経済の現状と韓日産業間の協力チャンス ・ 韓国投資環境の紹介 ・ 北陸企業韓国進出事例</p>
<p>(e) ベトナム：北陸ベトナム相互企業進出促進協会との連携事業</p>	<p>1) 北陸 AJEC は同協会の顧問として、当協会主催の在阪ベトナム総領事館とのセミナー等の連携事業を支援 2) 第 10 回総会の開催支援・出席</p>
<p>(f) タイ：「お互いフォーラム協会」との連携事業 ※2016 年 2 月、北陸 AJEC は当協会（主管：タイ工業省）とタイ国・ASEAN 間の経済協力覚書締結</p>	<p>1) 当協会主催の国際会議、シンポジウム並びにセミナー開催支援</p>
<p>② 海外ビジネス環境調査・情報発信事業 (a) 海外現地情勢報告セミナーの開催</p> <p>(b) 海外関連セミナー ・ 関係機関・団体と連携した海外情勢・動向、企業の海外展開に資する情報発信</p>	<p>1) 上期・下期に各 1 回開催 a) 2025 年度秋の会員アンケート調査結果を踏まえ、インドを対象国として政府系関係機関、既進出日系企業並びにシンクタンク等との共催を検討・実施 b) 第 1 回は以下要領にて実施 ・ 日 時：2026 年 6 月 10 日(水) 14 時～15 時 20 分 ・ 対象国：インド ・ 登壇者： -国際協力銀行ニューデリー首席駐在員 遠藤 徹氏 -JETRO ニューデリー事務所長 鈴木 隆史 氏 ・ 演 題：今後、決定</p> <p>1) 関係機関・団体（中部経済産業局国際課、日中投資促進機構他）と連携し、海外情勢の最新事情と動向、注視すべきテーマ等に関するセミナーの開催・情報発信 2) インド、中国、ASEAN 諸国、韓国等の関連セミナーをメルマガ、北経連トピックスにて周知</p>

事業計画	実施内容
<p>③販路開拓・顧客開拓支援とビジネスマッチング事業</p> <p>(a) アジア・ビジネスプラットフォーム（ABC プラットフォーム）事業 （主催：関西経済連合会）</p> <p>※対象は ASEAN 7 か国。 ※「ABC CHALLENGE サポートプログラム」とは「ABC プラットフォーム」事業の一つ。日系企業との協業に関心を持つ ASEAN 企業のビジネス支援を目的として運営中。ASEAN 企業と日本企業との商談、展示会への出展、万博会場見学等を含む。</p> <p>(b) 西日本経済協議会（西経協）国際分科会事業</p> <p>※西経協は 1965 年 6 月、産業人の立場からより良き西日本を実現するために連携・協力することを目的として、北陸・中部・関西・中国・四国・九州の 6 つの経済連合会により設立。国際分科会は 2021 年に発足。</p>	<p>1) 「ABC プラットフォーム」HP 上の「技術・商材」に「北陸のシェアトップ 150」（2025 年 3 月改訂版）及び掲載希望の会員企業を掲載の上、海外販路・顧客開拓を支援</p> <p>2) 同プラットフォーム傘下スタートアップ部会主催の商談会を会員企業に紹介。海外販路・顧客開拓並びに新規事業創出を支援</p> <p>3) 4 月 9 日（木）開催、「ABC プラットフォーム第 5 回全体会議」（開催地：バンコク）</p> <p>4) 「2026 年度 ABC CHALLENGE サポートプログラム」の一環として実施される、「ABC プラットフォーム」に属する ASEAN 諸国の 4 か国からの推薦企業と北陸企業のビジネスマッチングを支援</p> <p>1) 国際分科会参加（当年度幹事：九州経済連合会）</p> <p>a) 第 1 回分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催日時：5 月 12 日（火）15:00-17:00</li> <li>・ 協議内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>- 各経連の事業計画・課題、連携事業の意見・情報交換</li> <li>- 「ABC プラットフォーム事業（関経連）」、「九州農水産物直販事業（九経連）」、「高度外国人材活用（共通）」等について協議予定</li> </ul> </li> </ul>
<p>3. 「魅せる北陸」北陸地域・企業のブランド化</p>	
<p>(1) DEI 推進</p> <p>①多様な人材がそれぞれの能力を発揮できる基盤の強化</p> <p>(a) 外国人留学生と留学生 OB、企業との情報共有の場の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北陸未来共創フォーラムとの連携による、留学生の北陸企業への就職促進に資する取組みの実施</li> </ul>	<p>1) 北陸企業と留学生との交流会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業と留学生双方のお互いをより深く知りたいという要望に応えるために、密度の濃い交流の実現を狙いとして、直接的なコミュニケーションを行う交流会を、北陸三県各県毎に開催</li> </ul>
<p>(b) 「北陸未来共創フォーラム」（人材流入・地域定着分科会 WG2）への参画</p>	<p>1) 会議体への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産学官金が連携し、優秀な留学生や外国人材の北陸地域への呼び込み・定着に関する課題・方策等について協議</li> <li>・ 留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」コンソーシアムイベントの実施協力</li> </ul>
<p>(c) 特定技能外国人制度に関する情報収集・情報発信</p>	<p>1) 特定技能外国人制度に関する専門家による勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人材採用に関連する法律の内容や制度変更等必須知識の習得を狙いとした専門家による講演の実施</li> </ul> <p>2) 全国大での動向、受入実績に関する情報収集・発信</p>

事業計画	実施内容
(d) 高度外国人材の受入環境、 特定技能外国人制度等に関する 要望活動 ・ 政府要望への織り込み	1) 政府等への要望活動実施 ・ 外国人留学生の就職促進および定着に向けた施策の充実強化、地方の人手不足に対応した高度外国人材や特定技能外国人の大都市圏等への集中防止及び特定技能外国人の受入分野の拡大
(参考) 北陸 AJEC 単独事業	
調査研究・情報発信 (a) 調査研究 「経済安全保障を巡る動きとサプライチェーンの再編」のフォローアップ	1) 経済安全保障・サプライチェーン再編に関するフォローアップ ・ 会員企業の中国等海外事業戦略の検討に資するため、トランプ政権下の経済安全保障の動向、サプライチェーン再編に関する実態、及び日本・北陸企業の対応と課題についてフォローアップを実施し、Warm TOPICにて記事掲載予定
(b) 東アジア・東南アジアの政治・経済・ビジネス等に関する情報収集及びWarm TOPICを通じての情報発信 ・ 専門家からの情報収集・発信 ・ 北陸三県・北陸三地銀からの情報収集・発信 ・ 企業からの情報収集・発信	1) Warm TOPICにおける情報発信 2) Warm TOPICにおける留学生OB・採用企業紹介 ・ 企業・行政から情報収集（留学生OBの状況、企業側のキャリアビジョン、採用・育成方針等）し、Warm TOPIC等を通じて情報発信

以上

## 2026年度 北経連 収支予算

(収入の部)

(単位:円)

	2025年度	2026年度	差引(B-A)	摘 要
	予算額(A)	予算額(B)		
会費	84,900,000	84,110,000	▲ 790,000	
協力金	700,000	700,000	-	石川県商工会議所連合会から
雑収入	300,000	300,000	-	各種会合交通費謝金等
引当金戻入	12,300,000	12,600,000	300,000	海外視察等引当金960万円取崩し 中期アクションプラン検討事業引当金300万円取崩し
収入合計 (a)	98,200,000	97,710,000	▲ 490,000	
前年度繰越金 (b)	45,975,113	45,529,982	▲ 445,131	
収入の部 合計 (c)=(a+b)	144,175,113	143,239,982	▲ 935,131	

(支出の部)

(単位:円)

	2025年度	2026年度	差引(B-A)	摘 要 (万円未満 切り捨て)
	予算額(A)	予算額(B)		
事業費	58,742,000	64,530,000	5,788,000	
委員会活動費	28,568,000	26,331,000	▲ 2,237,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合対策委員会 802万円</li> <li>・ 人財活躍推進委員会 382万円</li> <li>・ 社会基盤委員会 472万円</li> <li>・ 新たな価値創出委員会 337万円</li> <li>・ 観光委員会 350万円</li> <li>・ 国際委員会 268万円</li> <li>・ 組織基盤委員会 21万円</li> </ul>
連携活動費	30,174,000	38,199,000	8,025,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員懇談会等 500万円</li> <li>・ 他経済団体との懇談会等 688万円</li> <li>・ 行政との懇談会 275万円</li> <li>・ 関係団体への支援 720万円</li> <li>・ その他事業費 1,636万円 〔 欧州経済視察 960万円等 〕</li> </ul>
会議費	4,500,000	4,500,000	-	
人件費	11,100,000	10,892,000	▲ 208,000	
事務費	23,828,000	17,758,000	▲ 6,070,000	職員用パソコン新機種入替(2025年度)の反動減等
引当金繰入	4,700,000	5,700,000	1,000,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創立60周年事業引当金 100万円</li> <li>・ 西経協総会引当金 70万円</li> <li>・ 情報機器等整備引当金 100万円</li> <li>・ 海外視察等引当金 300万円</li> </ul>
支出合計 (d)	102,870,000	103,380,000	510,000	
次年度繰越金 (e)=(c-d)	41,305,113	39,859,982	▲ 1,445,131	
支出の部 合計 (f)=(d+e)	144,175,113	143,239,982	▲ 935,131	

(引当金残高)	2025年度末	2026年度末
・ 創立60周年事業引当金	8,000,000円	9,000,000円
・ 西経協総会引当金	2,100,000円	2,800,000円
・ 退職給与引当金	329,424円	329,424円
・ 情報機器等整備引当金	2,200,000円	3,200,000円
・ 海外視察等引当金	9,600,000円	3,000,000円
・ 中期アクションプラン 検討事業引当金	3,000,000円	-
計	25,229,424円	18,329,424円